

平成21年度ニセコ町予算案の概要

平成21年3月

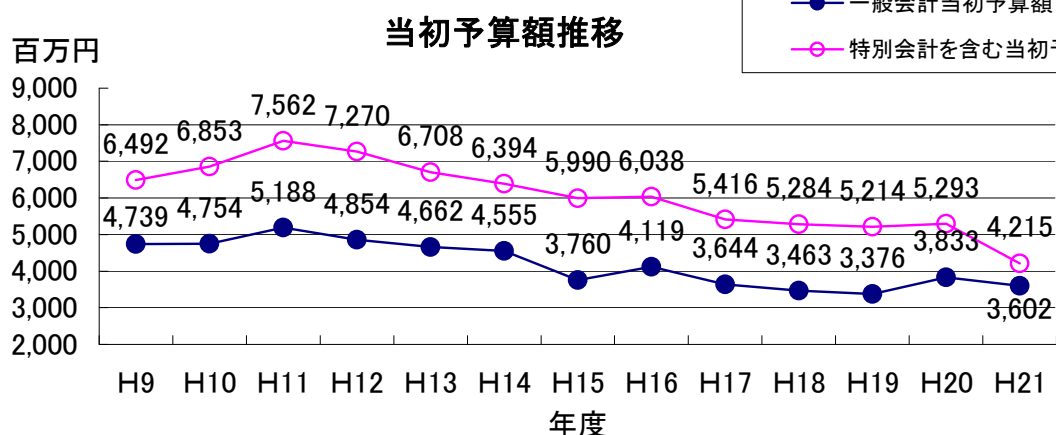
総務課財政係

(数値は一部概算値を用いています)

1 予算規模

単位：万円、%

会 計	21年度予算額		20年度予算額		増減比較			
	当初 A	当初 B	現計 C	当初予算比 A-B	増減率(%)	現計予算比 A-C	増減率(%)	
一 般 会 計	360,200	383,300	388,020	△ 23,100	△ 6.0	△ 27,820	△ 7.2	
国民健康保険事業特別会計	18,230	57,860	61,238	△ 39,630	△ 68.5	△ 43,008	△ 70.2	
老人保健特別会計	300	4,670	5,596	△ 4,370	△ 93.6	△ 5,296	△ 94.6	
後期高齢者医療特別会計	4,480	4,700	4,700	△ 220	△ 4.7	△ 220	△ 4.7	
介護保険事業特別会計	-	35,370	36,924	△35,370	皆減	△36,924	皆減	
簡易水道事業特別会計	18,200	21,030	21,165	△ 2,830	△ 13.5	△ 2,965	△ 14.0	
公共下水道事業特別会計	18,850	21,150	20,900	△ 2,300	△ 10.9	△ 2,050	△ 9.8	
農業集落排水事業特別会計	1,220	1,180	1,180	40	3.4	40	3.4	
合 計	421,480	529,260	539,723	△ 107,780	△ 20.4	△ 118,243	△ 21.9	
羊蹄山ろく消防組合ニセコ支署	18,219	14,503	14,590	3,716	25.6	3,629	24.9	



2 予算案の概要、編成方針

各会計予算の総額は42億1,480万円で、前年当初比10億7,780万円
の大幅な減少(△20.4%)となりました。一般会計予算では、給食センターの
建設など大型公共事業が完了したほか、21年度事業として予定していた羊蹄じん
芥処理場焼却炉の解体や町道の舗装補修などの単独事業について、平成20年度の
「地域活性化・生活対策臨時交付金」を活用して実施(予算を21年度へ繰り越し
て行う繰越事業)することとしたため、前年当初比2億3,100万円の大幅な減
少となっています。

特別会計では国民健康保険事業と介護保険事業について、平成21年4月から事
業運営を本町含め後志16町村で構成する後志広域連合が行うことから、医療及び
介護給付関連予算が広域連合に移行するため、全会計予算総額は大きく減少してい
ます。

なお、平成20年度の国の交付金事業を活用し、ごみ焼却炉の解体や町道の補修、公共施設の改修、消防・救急資機材の購入など総額1億6千万円の事業を平成21年度に繰越して実施します。

一般会計予算案の概要

一般会計予算の総額は36億200万円で、前年当初比2億3,100万円の減少(△6%)となりました。これは、給食センターや町道愛媛団体通改良舗装事業など大型公共事業の完了により予算総額が減少となっています。

【歳入】

町税は、温泉施設の増加により入湯税の増加を見込むものの、土地の売買取引による譲渡所得の減少や個人所得、たばこ税の伸び悩みのほか、固定資産税においても新築家屋の増加があるものの、家屋及び償却資産の評価額の減価により町税全体では6億909万円、前年当初比320万円の減収となりました。

地方交付税は、18億1,000万円(前年当初比2千万円の減少)を計上しました。普通交付税は、交付税補てんのある過疎対策事業債や辺地債などの償還額が減少するものの、社会保障関係経費の増加や新たに創設された地域雇用創出推進費を可能な限り見込み、16億8千万円(前年当初比2千万円の減)を計上しています。

地方財政対策における財源不足額に伴う財源補填のための町債(臨時財政対策債)の発行は、1億7,889万円(前年実績比6,370万円の増加)となり、普通交付税とあわせた合計財源では18億5,889万円(前年実績比1,700万円、1%増)を見込みます。

町債(借入金)は、起債対象事業の減少により、4億9,560万円(前年当初比9,660万円の減少)を計上しました。このうち、高金利対策として国の制度に基づき既往債を低利な起債に借り換えを行う借換債1億9,310万円(前年当初比1億1,740万円増)が含まれています。

なお、新規事業については地方交付税による財源措置のあるものを優先に計上しています。

【歳出】

普通建設事業費(公共投資事業費)は、3億5,141万円の前年当初比3億6,314万円の大幅な減少(△50.8%)となりました。

町債元利償還のための**公債費**は、9億9,434万円の前年当初比7,046万円の増加となりますが、高金利対策として繰上償還を行う償還額(1億9,310万円)を除く前年当初予算比では4,662万円の減少となります。歳出予算に占める構成比は、(繰上償還を行うための借換債の影響を含む)27.6%(前年当初値24.1%)と依然として高く、大きな負担となっています。

平成21年度予算は前年予算を下回っているものの、農業や観光、商業の産業振興など地域活性化を重点に、道路や公営住宅などの社会基盤との一体的な地域整備

を一層進めるほか、国の制度拡充に連動した妊婦健診の拡充や高齢者など災害弱者に対する火災警報器の普及事業、消防自動車の更新など消防・救急機能の強化、少子化対策や子育て環境、暮らしの安全など、地域経済の活力と安心安全のまちづくりを推進する積極的かつ集中した姿勢を予算に反映しています。

特別会計予算案の概要

国民健康保険事業会計では、医療給付関連予算が広域連合に移行したため、前年当初比3億9,630万円の減少、介護保険事業会計は、保険料の賦課から給付関係予算の全てが広域連合に移行するため、会計を廃止しています（介護認定の一次判定までに要する経費や広域連合から受託して実施する介護予防事業費は一般会計で計上）。老人保健会計では4,370万円の減少、後期高齢者医療特別会計では220万円の減少となっています。

簡易水道事業会計は、継続事業として、簡易水道未普及地域の解消を図るため豊里地区の拡張工事（事業費3,616万円）を実施します。また、一般会計と同様に高金利対策として町債の借換（1,780万円）を行います。拡張工事の事業量の減少や職員給与や公債費の減少により、前年当初比2,830万円の減少となります。

下水道事業会計は、簡易水道会計との人件費の移し替えにより、職員給与費が増加しているものの、有島地区の下水道区域拡張工事の完了や職員給与の独自削減の継続、公債費の減少により前年当初比2,300万円の減少となりました。

歳入では、引き続き資本費平準化債を活用し、下水道供用開始当初の負担の軽減を図ります。

農業集落排水事業会計は、蘭越町への事業負担金（処理場設備点検）の増加により前年当初比40万円の増加となっています。また、農業集落排水事業償還基金の全額を平成20年度に取り崩して公債費の償還財源に充てたため、一般会計からの繰入金が増加しています。

本年度は上記の上下水道3会計における財源不足を補うための一般会計からの繰出金（補填金）は、公債費における償還額負担のピークが経過したため、合計で1億4,289万円（前年当初比437万円の減少）となっています。しかしながら、施設等の老朽化も進むことから、機械設備の更新等による維持管理経費の増加などが予想されています。

3 不足する財源の確保

生活防衛のための緊急対策に基づく地域雇用推進費の創設や地方再生対策費の措置により、地方交付税の総額は確保されたものの、地方税収入や原資となる国税収入の伸びが鈍化するなど不安要素も多くありますが、本年度予算は、国の平成20年度第2次補正予算に盛り込まれた「地域活性化・生活対策臨時交付金」により予

定事業を前倒しすることが可能となり、さらに一般財源の負担を大幅に解消することができたため、新規事業や重点事業の拡充、公共施設の維持補修や先送りしていた事業の計画的な実施など、さまざまな行政課題に積極的に対応する内容となっています。

加えて、職員人件費の独自削減（本俸の一律5%カット）の継続や公共施設の維持管理経費の抑制など、自助努力と徹底した経費の見直しによる経常経費の抑制を図るとともに、収入の確保を力点に編成作業を進めた結果、財源不足額（赤字額）は、一般会計で1,562万円（前年当初6,045万円）にまで圧縮することができています。

この財源不足については、各種基金（貯金）の取崩しをもって財源に充てました。その結果、平成21年度末の予想基金残高は約12億7,942万円となります。

<財源不足の補填内訳>

公共施設整備基金1,500万円、ふるさとづくり基金62万円
取崩しの合計 1,562万円

基金残高(一般会計)

単位:万円

基金名	H20年度見込み				H21年度見込み			
	積立	取崩	残高	対前年増減	積立	取崩	残高	対前年増減
財政調整基金	143	0	35,505	143	157	0	35,662	157
減債基金	10	0	2,254	10	9	0	2,263	9
公共施設整備基金	225	0	64,385	225	301	1,500	63,186	△ 1,199
社会福祉事業基金	22	12	3,064	10	12	12	3,064	0
地域福祉基金	30	30	7,530	0	30	30	7,530	0
スポーツ振興事業基金	11	1	386	10	1	1	386	0
交通遺児育英基金	1	1	17	0	0	0	17	0
ふるさとづくり基金	22	0	163	22	1	62	102	△ 61
土地開発基金	24	0	9,585	24	20	0	9,605	20
産業振興基金	16	0	6,104	16	23	0	6,127	23
一般会計計	504	44	128,993	460	554	1,605	127,942	△ 1,051

4 主な取組み事業

(1) 平成21年度事業予算

①町道ニセコ登山道路歩道整備事業

ニセコアンヌプリ地区と道々岩内洞爺線を結ぶ観光施設連絡道路の歩行者の安全性を確保するため、歩道を設置する対象区間1,400mのうち、第1期工事区間として400mの歩道の整備と第2期工事区間670mの実施測量設計、用地確定測量を実施します。事業の完了は平成23年度を予定し、国の交付金事業を活用して事業を進めます。

②町道元町旧国道線改良舗装事業

道々岩内洞爺線と国道5号を結ぶ幹線道路の交通の利便性を図るため、平成20年度に引き続き、第2期工事として道々岩内洞爺線との交点から140mの改良舗装を実施します。

③その他町道等整備事業

- ・町道百三十万通改良舗装事業（改良舗装延長140m）
- ・町道北栄会館通改良舗装事業（延長415mの実施測量及び用地確定測量）
- ・町道西北連絡線改良舗装事業（延長120mの実施測量設計）
- ・中央地区排水路実施測量設計
- ・第三五十万橋改修工事
- ・クロ川合流工改修工事

④本通A団地改善事業等の実施

公営住宅ストック総合活用計画に基づき、老朽化した本通A団地（町道軌道線南側の2棟4戸）の改修工事に着手します。また、消防法の改正により義務付けされた火災警報器の設置を計画的に実施（本年度は望羊団地72戸）するほか、富士見団地（2棟16戸）の給湯設備等の改修を行い、住環境の改善を図ります。

⑤学校給食センターの整備

平成20年度に建設した新センター周辺の外構工事と旧施設の解体工事を実施します。新施設からの給食の提供は平成21年8月を予定し、より衛生的な食品管理と調理作業により、地元食材を活かした給食の提供を行います。

なお、国産食材をはじめとする食材物価の高騰などを受け、平成21年4月から給食費の値上げ（年額1,680円～2,880円）を行います。

⑥小学校施設の整備

児童の快適な教育環境を構築するため、築後25年以上経過し老朽化が進むニセコ小学校校舎の大規模改修に向けた設計業務を行い、必要な修繕箇所の把握と

必要経費を調査します。

また、各小学校遊具の安全性をより確保するための必要な改修を行うほか、わかりやすい児童用パソコンソフトを導入して教育内容の充実を図ります。

⑦教員住環境の整備

老朽化の著しい教員住宅（2棟 2戸）の改築を行います。なお、1棟は国の補助制度を活用して実施します。

⑧農家経済救済緊急対策及び地域循環型クリーン農業の推進

基幹産業支援対策として、農地の賃貸借契約に基づく小作料の助成を継続し、農用地の荒廃化防止、遊休農用地の活用を図ると同時に良好な農村景観の保全に取り組みます。

土づくり対策では、製造堆肥の町内流通を促進する購入費助成と堆肥原料の運搬費補助を継続して実施するほか、新たに、堆肥原料となる有機質資源を確保するための費用を支援（200円/トン）します。

また、JAようていと連携して農地の土壌診断事業を拡充するなど、地域循環型クリーン農業の推進に努めます。

⑨農業生産基盤の整備

地域で管理する農業用水路の老朽化への対策として、地域が主体となって行う改修費用の一部を補助する制度を創設します。

農業集落における町道や農道、農業用水路の草刈や清掃などの共同活動を行う町内8地区の活動団体と化学肥料、化学合成農薬の低減に取り組む活動団体に対して、引き続き国及び道の制度を通じて積極的な支援を行います（農地・水・環境保全向上対策事業）。

⑩町有林の整備及び植栽事業

桂台地区の町有林（14.52ha）の間伐事業を国の補助制度を活用して実施します。

また、ふるさとづくり寄付条例に基づく基金を活用して、植栽事業を行う町内団体に補助するほか、公園内に桜の苗木を植林するなどの環境整備を進めます。

⑪農業・観光・商工業の連携

農業・観光・商工業の関係者で構成する産業連携プロジェクトを活用して、ニセコ産米をはじめとする地場製品の消費拡大や地産地消のシステムづくりを各産業間の連携により推進します。また、本年度も引き続き、地元食材を活用した食のフェアを開催して活動の定着化を図るとともに、料理研究・開発などを行うほか、農畜産物の加工化に取り組む地域や団体を支援します。

⑫町内消費の拡大・商業振興対策

平成20年度に引き続き、地域経済活性化対策事業として、商業の活性化と個店の販売促進、町内消費の拡大を目的に商工会が企画するプレミアム商品券事業に対して補助します。平成21年度は発行総額を倍増し、町内消費の更なる拡大を推進します。

⑬観光振興対策・国際会議の開催

観光客のニーズの多様化や外国人観光客の誘致など、さまざまな社会情勢の変化に対応するため、潜在的なイメージを広く発信するための観光イメージ映像や観光ロゴを作成します。株式会社ニセコリゾート観光協会に対し、教育旅行招へいホームページの作成や観光客招致活動経費など所要の経費を助成して観光振興を図ります。

また、北海道及び倶知安町と連携して国際会議の開催を支援（6月に日本とオーストラリアとの国際会議が決定）するなど、ニセコエリアの観光資源を積極的に発信して外国人観光客の更なる誘客に努めます。

⑭準都市計画による景観対策

近年のニセコ山系周辺における投資、土地取引、土地開発における急激な変化により、乱開発による景観・環境阻害への対応と地域住民とのトラブルを未然に防止するため、従前の景観条例の運用に加えて、準都市計画の導入検討を進めてきました。平成21年3月からは、一部地域について準都市計画区域の指定を受けます。

今後、高さの限度や色など詳細なルールづくりを進め、自然環境と景観の保全を進めます。

⑮子育て環境への支援、少子化対策

次代を担う子供とすべての子育て家庭を支援するため、新たな次世代育成支援行動計画（計画期間22年度から5か年）を策定します。

乳幼児医療費の通院費用助成の対象年齢引き上げを実施するほか、一貫した幼児教育と保育の場を提供するため、幼児センターの運営に必要な予算を確保するとともに併設する子育て支援センターに専任職員の配置を継続します。

新たな対策として、国及び北海道の制度を活用し、妊婦にとっての経済的負担軽減と安全に出産を迎えていただくための一助として、妊婦健康診査の助成を現行の5回から14回に拡充します。あわせて超音波検査の助成についても6回に拡充します。

そのほか、利用児童父兄の意見を伺いながら、農村公園（ちびっ子広場）の老朽化した木製遊具の改修を行い、子供たちの「遊びの場」の確保を図ります。

⑯健康づくりの推進と暮らしの安全の確保

町民の健康増進、疾病の早期発見と早期治療を推進するため、がん検診や特定

健康診査の健診日程を拡充し、受診機会の拡大を図ります。75歳以上の高齢者の特定健康診査については、受診者負担の軽減と受診率の向上を図るため、健診費用の無料化を行います。

また、災害弱者対策として、70歳以上の高齢者世帯（対象者と同居する世帯を含む）に火災警報器を設置するとともに、消防ポンプ車を更新して、地域の消防力の強化を図ります。

⑰有島記念館の整備と特別展の開催

有島記念館本館内の展示室について、展示換えのためのリニューアル工事を行います。冬期間の工事を予定しているため、本館展示室のお披露目は22年春の予定です。

また、過去20回の開催を重ねた有島青少年公募絵画展の受賞作品20点を揃えて展示会を開催します。開催にあたっては、絵画展共催企業の支援を受けて、8月13日から18日までの期間、札幌市内のギャラリーで開催します。

⑱簡易水道の整備

簡易水道未普及地域の解消を図るため、継続事業として近藤地区（豊里地区）の拡張工事を実施します。

⑲エキノコックス対策事業

駆虫剤を含んだ餌を散布し、感染したキツネの寄生虫のみを駆除する方法により、キツネへの感染の拡大を予防します。

⑳公共施設の改修及び機能強化

公民間施設の老朽化に伴い、社会教育活動など地域活動拠点となっている町民センターと公民館機能の総合化を検討します。

なお、施設利用者が特に多い町民センターにあっては、高齢者の利用に配慮したバリアフリー化や身体障害者用トイレの整備、文化・福祉活動拠点として必要な総合的機能のあり方を検討するための基本設計を策定します。

（２）平成20年度からの繰越事業予算

以下の事業については、平成20年度の国の地域活性化・生活対策臨時交付金を活用して、平成21年度に予算を繰り越して実施します。

①じん芥処理場焼却炉の解体 事業費総額 5,357万円

既に供用を終えている羊蹄じん芥処理場の焼却炉について、実施設計を行い、解体撤去工事を実施します。

②町民センター設備等の改修 事業費総額 864万円

町民センター非常用照明器具の交換と大ホールの音響設備、ステージ照明設備の改修を行います。

③デイサービスセンター施設改修に対する補助 事業費総額 743万円

ニセコ福祉会が運営するニセコデイサービスセンター屋根の防水改修が必要なことから、その改修費用を町が補助します。

④町道の舗装補修 事業費総額 7,230万円

- ・町道市街地軌道線実施測量設計
- ・町道市街地軌道線拡幅改良舗装工事（延長230m）
- ・町道市街地軌道線舗装補修工事（延長200m）
- ・町道駅構内軌道線側溝改修工事（両側延長640m）
- ・町道ニセコ登山道路舗装補修工事（延長1,400m）

⑤救急・消防備品の更新 事業費総額 471万円

救急車搭載の患者監視用モニター及び小型動力ポンプを更新します。

⑥総合体育館アリーナ照明設備の改修 事業費総額 782万円

アリーナ照明器具（20台）を昇降装置付照明器具に改修します。省エネタイプの電球交換等により、コスト低減を図ります。

⑦行政情報基盤の整備 事業費総額 654万円

町税及び使用料等の納入通知書を印刷するプリンターの更新を行います。

5 一般会計 歳入・歳出の内訳（款別）

単位：万円、%

款	歳		入		予算構成比		
	区分	本年度予算	前年度予算	増減額	増減率	本年度	前年度
		A	B	A-B			
1 町税		60,909	61,229	△ 320	△ 0.5	16.9	16.0
2 地方譲与税		6,440	6,950	△ 510	△ 7.3	1.8	1.8
3 利子割交付金		160	110	50	45.5	0.0	0.0
4 配当割交付金		30	70	△ 40	0.0	0.0	0.0
5 株式等譲渡所得割交付金		0	0	0	0.0	0.0	0.0
6 地方消費税交付金		4,500	4,400	100	2.3	1.2	1.1
7 ゴルフ場利用税交付金		250	200	50	25.0	0.1	0.1
8 自動車取得税交付金		1,080	1,800	△ 720	△ 40.0	0.3	0.5
9 地方特例交付金		800	190	610	321.1	0.2	0.0
10 地方交付税		181,000	183,000	△ 2,000	△ 1.1	50.2	47.7
11 交通安全対策特別交付金		100	100	0	0.0	0.0	0.0
12 分担金及び負担金		2,152	2,443	△ 291	△ 11.9	0.6	0.6
13 使用料及び手数料		14,242	14,850	△ 608	△ 4.1	4.0	3.9
14 国庫支出金		12,105	17,842	△ 5,737	△ 32.2	3.4	4.7
15 道支出金		10,011	10,927	△ 916	△ 8.4	2.8	2.9
16 財産収入		2,643	2,560	83	3.2	0.7	0.7
17 寄附金		1	1	0	0.0	0.0	0.0
18 繰入金		1,605	6,089	△ 4,484	△ 73.6	0.4	1.6
19 繰越金		2,000	2,000	0	0.0	0.6	0.5
20 諸収入		10,612	9,319	1,293	13.9	2.9	2.4
21 町債		49,560	59,220	△ 9,660	△ 16.3	13.8	15.5
歳入合計		360,200	383,300	△ 23,100	△ 6.0	100.0	100.0

款	歳		出		予算構成比		
	区分	本年度予算	前年度予算	増減額	増減率	本年度	前年度
		A	B	A-B			
1 議会費		3,717	3,613	104	2.9	1.0	0.9
2 総務費		86,985	84,661	2,324	2.7	24.1	22.1
3 民生費		33,799	34,727	△ 928	△ 2.7	9.4	9.1
4 衛生費		23,795	25,231	△ 1,436	△ 5.7	6.6	6.6
5 労働費		204	204	0	0.0	0.1	0.1
6 農林水産費		9,371	9,636	△ 265	△ 2.8	2.6	2.5
7 商工費		6,217	5,420	797	14.7	1.7	1.4
8 土木費		39,856	44,512	△ 4,656	△ 10.5	11.1	11.6
9 消防費		17,252	14,485	2,767	19.1	4.8	3.8
10 教育費		39,269	68,122	△ 28,853	△ 42.4	10.9	17.8
11 災害復旧費		1	1	0	0.0	0.0	0.0
12 公債費		99,434	92,388	7,046	7.6	27.6	24.1
13 予備費		300	300	0	0.0	0.1	0.1
歳出合計		360,200	383,300	△ 23,100	△ 6.0	100.0	100.0

【この資料のお問い合わせ】ニセコ町役場総務課財政係 担当：係長 青木大介
電話 0136-44-2121 Eメール zaisei@town.niseko.lg.jp 業務時間 8:40 から 17:15 まで